

医療法人社団 高仁会 広報誌

OASIS

オアシス

～高仁会の理念～

心病む人に「仁」を尽くして地域医療に貢献します

2021.7

広報誌「オアシス」第23号

写真：プラタナスの花

織田行高会長が瑞宝双光章を受章

国家又は公共に対し功労のある者、社会の各分野における優れた行いのある者を表彰する「令和2年春の叙勲」にて当院織田行高会長が瑞宝双光章を受章されました。

会長は昭和46年に多久市北多久町に中多久病院（当時106床）を開業。開業時の状況について「当初、地元での説明会をひらき、精神障害者の開放病棟には強く反対意見がありました。しかし、精神障害の人でも一般の病人の様に普通の開放された病棟で過ごすのが、予後にもよく、治療効果が世界的にも認められていることを説明し、一部は開放病棟にすることを納得してもらいました。」と当時を振り返り話され、街中での精神科病院の運営に尽力されてこられました。また、昭和60年前後には、高齢化社会を受けて認知症ケアにも力を入れるなど、長年地域医療に貢献され、今回、保健衛生分野での功労を称え受章となりました。

※瑞宝章は、「国及び地方公共団体の公務」または「公共的な業務」に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与される勲章です。



当院で授与式が行われました。



勲章：瑞宝双光章

～開設20周年を迎えて～

認知症対応型共同生活介護事業「グループホーム 悠々」と訪問看護ステーション「なずな」は2020年10月に、開設20周年を迎えました。

当時、「グループホーム 悠々」開設に携わった峯進也看護部長と現在業務に携わっている吉次順也主任、また、昨年度まで「なずな」で勤務された野田輝彦看護長に開設して20年を迎え、当時を振り返っていただき、また今後への思いを聞いてみました。



「悠々開設当初を振り返って」 峯 進也

2000年、「10月に認知症（当時は、まだ痴呆症と呼んでいた）の方のグループホームを開設するから、開設準備室に異動して下さい。」と上司より告げられたのを思い出します。認知症対応のグループホームに何の予備知識もなく、当時、まだ県内に開設している所も少ない状況でした。不安はあったが、準備に一から携わらせて頂けるのは勉強になると思い、好奇心のみで準備室に飛び込みました。当時の織田行高理事長から、認知症グループホームを設立する思いを聞き、「入居者の生活様式をくみ取り、何をやってもいいんだよ。」「認知症があっても入居者には残された力がある。その力を存分に引き出して、スタッフが家族の一員となり、ふれあい、楽しい余生を過ごしてもらいたい。そんなホームにしたい。」というような思いを話されたのを覚えています。



見聞を広げるため、先進的な取り組みをしている県外のグループホームの見学もさせて頂きました。色々な施設を見学しながら、悠々として目指すべき姿を模索していた時期だったと思います。配置するスタッフも自分たちで異動を募り、意欲、関心のあるスタッフを集めました。スタッフと面談して、やりたいという思いを確認し、勉強会を重ね、なんとか開設までこぎつけた。入居者5名から始めた開設当初。毎日何をしようかと考えながら、

入居者様の得意な事や趣味を会話から引き出して、実際に活動に繋げる事を繰り返した。こんなにゆっくりと関われる時間が過ぎることがとても幸せな時間を感じられました。スタッフも意欲的に担当入居者様と関わり、バックグラウンドや生活背景等の情報を集め、ご家族も巻き込んでケアを展開していた頃が今では懐かしく感じられます。悠々では、入居者様の力やご家族の思いを改めて感じる体験をたくさん積み重ねて頂きました。イベントで、たけのこ掘りに行き、目つきが変わったように、どんだん山の中へ入っていく入居者をドキドキしながら追いかけて、立派にたけのこを掘り当てられた事。食べる下処理と料理まで教えて頂きました。釣りがしたいと二人で出かけて、川に落ちないかとハラハラしながら釣りを楽しんだ事。芝居と温泉の

旅行に皆で出かけて、一緒に湯船につかった事。ホームの裏に畑を作り、ミニトマトを植えたところ、入居者様が裏に行く度に口をモグモグさせて戻ってきて「産地直送」と笑わせてくれた事。グループホームの中で身体的な状態が悪化していく入居者を前に自分たちに何ができるかとスタッフみんなで話し合った事、そして、その方を看取った事。ご家族が敬老会で昔の入居者様の様子を手紙にしたためて、ご苦労された時代の出来事と感謝の気持ちを述べられるのを皆で泣きながら耳を傾けた事。どれも私にとっては、忘れられない出来事となり、現在の認知症ケアの原点となった場所だと思います。未熟な私に、共に力を貸して下さった当時の入居者の皆様、ご家族様、スタッフのみなさんに支えられて過ごしたあの時間は私の大切な宝物です。ありがとうございました。みなさんに感謝。そして 20 年を迎えた悠々に更なる期待を抱きつつ文を締めたいと思います。



「グループホーム悠々の今後への思い」 吉次 順也

私はグループホーム悠々（以下悠々）が開設して、18年目に就任して早2年が経過し開設20年を迎える節目の年となりました。

グループホームの基本方針の中に「入居者の方が家庭的な環境の中で、地域住民との交流や住み慣れた環境を継続しながら、自立した日常生活を営むことができるように支援すること」が求められています。また、悠々の理念は6つあり、その中でも私が一番大切にしていることは、家庭的な雰囲気、互いに一家族の一員として認め合うという理念です。

認知症を患ったために家庭での生活が困難となり、やむなく介護施設等を利用しなければならない状況である方が多いのではないのでしょうか。そこで、できる限り家庭に近い環境の中で四季を大切に、入居者の方が住み慣れた地域の中で、自宅で生活をしていたら行っていたで

あろうドライブ・農作物づくり・もちつき・温泉旅行・忘年会や新年会等を、悠々の行事に取り入れ、入居者の方が四季を感じながら、生き生きとした日常生活を送れるように支援して行きたいと思っております。

また、入居者のQOL（生活の質）を維持するとともに、生活歴や趣味など入居者ひとり一人に応じた取り組みと、入居者のプライバシーと尊厳を守り悠々で生活していても自分の家で生活しているような環境づくりに努め、毎日を不安なく安心して過ごして頂けるように、これからも邁進していききたいと思います。



「訪問看護ステーションなずな」 野田 輝彦

この度、令和2年10月で「訪問看護ステーションなずな」が開設20周年を迎える事が出来ました。これも偏に指示を出して下さる主治医の先生方、訪問看護を利用される利用者様がいたからだと感謝申し上げます。

訪問看護とは、看護を必要とされている方が安心して自宅で療養できるように、かかりつけ医師と連携して看護師が定期的にご自宅に訪問し、その方の療養生活のお手伝いをするものです。この制度の始まりは、在宅の寝たきりの老人等に対して、老人訪問看護ステーションから看護師等を訪問させて看護サービスを提供する老人訪問看護制度として平成4年4月1日から実施されました。

ついで、健康保険法が改正され、老人医療の対象外の在宅の難病患者、障害者等の療養者に対しても訪問看護ステーションから訪問看護サービスを提供し、訪問看護療養費を支給する訪問看護制度が平成6年10月1日から実施されました。

さらに、平成12年4月1日からは介護保険制度の実施にともない、在宅の要介護者等に対しては、介護保険法に基づく指定を受けた訪問看護ステーションから看護サービスを提供できるようになりました。この年の10月になずなも開設しており、在宅看護自体の歴史はまだ浅い方でした。しかし、超高齢社会の今日において訪問看護の必要性が高まり、訪問看護ステーションの数は増加しており、県内でも99カ所があり、高齢化率29.7%で全国順位が28位です。当ステーションの登録者も100名に達し右肩上がりで増えております。

主に精神疾患の方の訪問が多いですが、今後は要支援、要介護の方の訪問も増えていくと考えています。

その人が、その人らしく安心して在宅生活が送れるように、利用者及び家族の歴史と生活のあり方を尊重しながら利用者と家族の健康維持に努め、自己決定が出来るように支援していききたいと思います。



永年勤続表彰者

2020年4月において、当法人にて20年間勤務されてこられた方々が永年勤続表彰を受けられました。

- ・笠原 晴美さん・溝口 好弘さん・中村 美由紀さん
- ・江口 正則さん・中島 育子さん・深川 寛子さん

これからも様々な面でのご活躍をお祈りいたします。



中多久病院

〒846-0003 多久市北多久町多久原 2512-24 TEL / 0952-75-4141



財団法人日本医療機能評価機構
認定病院

- 外来 ＜ 精神科 ＞
- 精神療養病棟
- 精神科病棟
- 認知症疾患治療病棟
- 精神科デイケア
- 認知症デイケア「ふるさと工房」
- 地域連携室

介護保険事業所

〒846-0003 多久市北多久町多久原 2512-24 TEL / 0952-75-3551



- 介護老人保健施設「多久いこいの里」
- 支援系サービス事業所
 - ・居宅介護支援センター「多久いこいの里」
 - ・在宅介護支援センター「いこいの里」
- 訪問系サービス事業所
 - ・訪問看護ステーション「なずな」
 - ・訪問リハビリテーション「そよかぜ」
 - ・訪問介護センター「多久いこいの里」
- 通所系サービス事業所
 - ・通所介護
 - ・認知症対応型通所介護
 - ・デイケア「多久いこいの里」(通所リハビリテーション)
- グループホーム「悠々」(認知症対応型)

障害者福祉サービス事業所

〒846 0003 多久市北多久町多久原 2528 40 TEL / 0952-75-2041



- グループホーム「すずかけ荘」(障害者総合支援法)
- 相談支援事業「すずかけ」
- 就労移行支援事業「はなみずき 1」
- 就労継続支援 B 型事業「はなみずき 2」
- 自立訓練(生活訓練)事業「希望塾」



医療法人社団 高仁会

多久市北多久町多久原 2512-24

TEL (0952) **75-4141**

お気軽に
お問い合わせ
下さい

正社員
募集

正・准看護師

介護職員

サービス管理責任者

詳細についてはお問い合わせ下さい

0952-75-4141